

TOP ENSEMBLE SERIES

公演日程

- 2024年4月29日(月・祝) 15:00開演** **レオンコロ弦楽四重奏団**
※会場: ザ・フェニックスホール <2022年 ウィグモアホール国際弦楽四重奏コンクール、ボルドー国際弦楽四重奏コンクール第1位>
- 2024年9月27日(金) 19:00開演** **ヘンシェル・クアルテット**
※会場: ザ・フェニックスホール <第2回大阪国際室内楽コンクール第1位>
- 2025年3月1日(土) 15:00開演** **ヴェローナ・クアルテット**
※会場: 読売テレビ 10hall <第8回大阪国際室内楽コンクール第3位(旧名: ヴァスムート・クアルテット)>

チケット料金

公演	一般	友の会	学生	セット券	セット券(友の会)
① レオンコロ弦楽四重奏団(指定席)	¥ 5,000	¥ 4,500	¥ 1,500	¥ 13,000	¥ 11,500
② ヘンシェル・クアルテット(指定席)	¥ 5,000	¥ 4,500	¥ 1,500		
③ ヴェローナ・クアルテット(自由席)	¥ 5,000	¥ 4,500	¥ 1,500		

※セット券、学生券はザ・フェニックスホールチケットセンターのみ取り扱い(学生券は25歳以下、要学生証提示)

発売日

- 11月24日(金) ザ・フェニックスホール友の会優先予約
- 11月28日(火) 一般発売

チケット取扱

ザ・フェニックスホールチケットセンター 06-6363-7999 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F (営業時間: 10:00~17:00 休業日: 土・日・祝日)
 チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード: ①254-990 ②254-991 ③254-992 **ローソンチケット** <https://l-tike.com/> Lコード: ①53209 ②53251 ③53409

会場

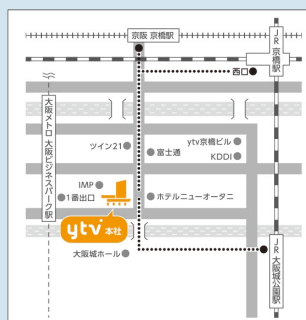
ザ・フェニックスホール改修期間のため、ヴェローナ・クアルテットの公演は読売テレビ10hallで開催いたします。ご注意ください



- ① 4月29日公演 **レオンコロ弦楽四重奏団**
- ② 9月27日公演 **ヘンシェル・クアルテット**

あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

530-0047
 大阪市北区西天満4-15-10
 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー内
 TEL: 06-6363-7999
<https://phoenixhall.jp/>



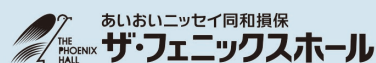
- ③ 3月1日公演 **ヴェローナ・クアルテット**

読売テレビ 10hall

540-8510
 大阪市中央区城見1丁目3番50号
 読売テレビ本社屋1F
 TEL: 06-6947-2184

※お車での来場はご遠慮ください。車いすのご来館や、目や耳の不自由なお客様など、係のお手伝いが必要なお客様は、事前にご連絡ください。
 ※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。
 ※都合により出演者、曲目などが変更になる場合があります。予めご了承ください。

【主催】 公益財団法人 日本室内楽振興財団、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール 【後援】 読売テレビ、読売新聞社



【問い合わせ】 公益財団法人 日本室内楽振興財団 <https://jcmf.or.jp> TEL: 06-6947-2184



大阪国際室内楽
コンクール&フェスタ



あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール

ザ・フェニックスホールに集う トップアンサンブル シリーズ 2024-2025



TOP ENSEMBLE SERIES

ベートーヴェン「ラズモフスキーセット」

Leonkoro Quartet

レオンコロ弦楽四重奏団

2024 4 | 29

(月・祝) 15:00開演



Henschel Quartet

ヘンシェル・クアルテット

2024 9 | 27

(金) 19:00開演

Verona Quartet

ヴェローナ・クアルテット

2025 3 | 1

(土) 15:00開演



今シーズンのトップアンサンブルシリーズでは、**ベートーヴェン**の不朽の名作「**ラズモフスキーセット**」を軸に、俊英からベテランまで世界で注目を集めるアンサンブルが揃います。

TOP
ENSEMBLE
SERIES



2022年 ウィグモアホール国際弦楽四重奏コンクール、
ボルドー国際弦楽四重奏コンクール第1位

時代を越えたウィーンの名

Leonkoro ドイツ Quartet レオンコロ弦楽四重奏団

大阪国際室内楽コンクール & ボルドー国際弦楽四重奏コンクール提携公演

2024 4 | 29 (月・祝) 15:00開演
あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール

Program
ウェーベルン:弦楽四重奏のための緩徐楽章
シューベルト:弦楽四重奏曲第9番 ト短調 D173
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第7番 ヘ長調 op. 59-1「ラズモフスキー第1番」

ヨナタン・昌貴・シュヴァルツ(ヴァイオリン) Jonathan Masaki Schwarz, *violin*
アメリー・コジマ・ヴァルナー(ヴァイオリン) Amelie Cosima Wallner, *violin*
近衛麻由(ヴィオラ) Mayu Konoe, *viola*
ルカス・実・シュヴァルツ(チェロ) Lukas Minoru Schwarz, *cello*

Profile

2019年にベルリンで結成。レオンコロとはスペイン語でライオンハートを意味する。
2022年ボルドー国際弦楽四重奏コンクール第1位、聴衆賞、若手聴衆賞を受賞。同年、ウィグモアホールコンクールで第1位に加え9つの特別賞を獲得。その前年にはプレミオ・パオロ・ボルチアーニコンクールを最年少で第2位(1位無し)、聴衆賞も獲得。ハイメ・ミュラー、

ギンター・ピヒラー、アルテミス・カルテットのメンバーに師事。アルフレッド・ブレンデル、ラインハルト・ゲベル、ライナー・シュミット、オリヴァー・ヴィレなどから音楽的な感銘を受けた。

2023年秋にラヴェルの弦楽四重奏曲とシューマンの弦楽四重奏曲第3番を収録したCDデビューを果たす。2023-2024年のシーズンではベルリンフィルハーモニー、ケルンフィルハーモニー、コンセルトヘボウなどのホールでデビューを飾る。また、英国リーズでアーティスト・イン・レジデンスを務める。

Profile

1994年にチェロのマティアス・バイヤー＝カルツホイが、クリストフ、マルクス、モニカ・ヘンシェル兄弟に加わり、本格的に弦楽四重奏に専心した。1995年にはエヴィアン、バンフなどの国際コンクールで入賞、翌年には大阪国際室内楽コンクールで第1位を受賞。以降、欧州だけでなく世界各地での演奏活動を続けている。2010年にはローマ教皇の御前で演奏。定期的にマドリードの王宮に招待され、王宮コレクションの4挺のストラディヴァリでの演奏を行っている。2012年にサントリーホルのベートーヴェン弦楽四重奏サイクルに招聘される。同年モニカは、新設されたドイツ弦楽四重奏連盟の会長に就任。近年では歴史の陰に隠れてしまった名曲に光を当てる活動が評価を得ている。世界中の一流の音楽教育機関から指導に招かれ、出身地であるミュンヘンの青少年音楽プロジェクトのために、バイエルン文化省と協働している。2006年より「SOS子どもの村」のアンバサダーを務める。

ハイドンなどの先達の技法を学び、

ベートーヴェンが室内楽界に
革新を巻き起こした
「**ラズモフスキーセット**」を辿る旅。
彼らと一緒に歩みましょう。

第2回大阪国際室内楽コンクール第1位

受け継がれる正統派ドイツサウンド

Henschel ドイツ Quartet ヘンシェル・クアルテット

2024 9 | 27 (金) 19:00開演
あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール

Program
メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲第3番 ニ長調 op. 44-1
シューベルト:弦楽四重奏曲第13番 イ短調 D804「ロザムンデ」
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第9番 ハ長調 op. 59-3
「ラズモフスキー第3番」

クリストフ・ヘンシェル(ヴァイオリン) Christoph Henschel, *violin*
ダニエル・ベル(ヴァイオリン) Daniel Bell, *violin*
モニカ・ヘンシェル(ヴィオラ) Monika Henschel, *viola*
マティアス・バイヤー＝カルツホイ(チェロ) Mathias Beyer-Karlshoj, *cello*



第8回大阪国際室内楽コンクール第3位

弦楽四重奏大国アメリカで頭角を現す俊英

Verona アメリカ Quartet ヴェローナ・クアルテット

2025 3 | 1 (土) 15:00開演 読売テレビ 10hall

Program
メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲第1番 変ホ長調 op. 12
ヤナーチェク:弦楽四重奏曲第1番 ホ短調「クロイツェルソナタ」
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第8番 ホ短調 op. 59-2
「ラズモフスキー第2番」

ジョナサン・オン(ヴァイオリン) Jonathan Ong, *violin*
ドロシー・ロー(ヴァイオリン) Dorothy Ro, *violin*
アビゲイル・ロジャンスキー(ヴィオラ) Abigail Rojansky, *viola*
ジョナサン・ドーマンド(チェロ) Jonathan Dormand, *cello*

Profile

ウィグモアホール、大阪国際室内楽コンクールでの入賞で国際的な名声を高め、2020年にクリーヴランド・クアルテット賞の受賞で「大胆な解釈力、強い個性と堂々とした響き」と評されたアメリカの若手を代表するアンサンブル。カーネギーホール、リンカーンセンター、ケネディセンター、ウィグモアホール、メルボルンなど4大陸で出演して聴衆を魅了し、数多くの音楽祭にも参加している。シンガポールのヨン・シュー・トー音楽院、マサチューセッツ工科大学などにも招聘されている。クアルテット・イン・レジデンスとして教鞭を執るオーバーリン大学に加えて、ルーネンバーグやノースカロライナでもレジデンスを務める。近代音楽の普及に加え、異文化間とのコラボレーションに熱心に取り組んでいる。デビューCDである、ヤナーチェク、ラヴェル、シマノフスキーを収録したDiffusionは、BBCミュージックマガジンに「まぶしいほどの輝き」と称賛された。

